

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立昭和北中学校
(昭和北中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	-9.8	-14.0	-11.6
令和4年度	-3.0	-4.4	

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 60% 全国 69.8% 県 70%</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化 情報の扱い方</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。(設問3(四)【書くこと】(全国平均との差-18.3%・無回答率22.3%)) ◎設問2(四), 3(四), 4(三)の無回答率が県や全国に比べて有意に高いことに課題がある。 ◇自分の考えが相手に伝わるように書くことに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えに説得力をもたせるためには、根拠の明確さが大切になることに留意させ、具体的に説明したり、文章の構成や表現の仕方などを工夫したりして書く学習活動を設定する。 ◇自分の考えを書くときは、根拠を明確にして書くように指導する。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力(設問3(四))の類似問題(第2~3学年 1~2月)目標65% ◇類似問題を実施し、各校の目標値を達成
<p>数学</p> <p>本校 37.0% 全国 51.0% 県 49.0%</p> <p>数と式 図形 関数 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎四分位範囲の意味を理解しているか。(全国平均との差-22.2%・無回答率12.2%)と【Dデータの活用】分野の知識・技能に課題がある。 ◎設問6(3), 7(2), 9(1)の説明, 証明問題の無回答率が県や全国に比べ2倍近く高いことに課題がある。 ◇図形領域において、基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明することに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるために、授業内で、生徒が新しいものを見つけたり、考えたりすることができる場面を多く設定する。 ◎途中式等を書く問題を作成し、部分点をつけるようにし、少しでも記入する意識付けを行う。 ◇授業で課題解決に向けて、根拠となることからの提示し、考察する場面や交流する活動を意図的に設定する。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎データの活用に関する学年末テストの問題(第3学年1月)目標65% ◎説明・証明学年末テストの問題(第3学年1月)目標50% ◇類似問題を実施し、各校の目標値を達成
<p>英語</p> <p>本校 34% 全国 45.6% 県 43%</p> <p>聞くこと 読むこと 話すこと 書くこと</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「買い物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題」において、正答率の差が県とは11.3%、全国とは16%であった。情報を正確に聞き取る力が身につけていない。 ◎8(2), 9(2), 10のように文章を書いたり書き換えたりする項目の無回答率が高いことに課題がある。 <p>改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎授業の中で様々な場面における会話の場面(聞いたり話したり)を設定し、定期テストにおいて、同じような問題を出題し、検証をする。 <p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力の類似問題 目標65%

【来年度に向けて】